西光寺だより第一八二号 令和七年十月一日発行

◆先月の報告◆

て頂きました。 厳修いたしました。 西光寺のご婦人方皆さんで正信偈のお勤めをさせ 九月十八日 (木) 十三時より西光寺本堂にて仏教婦人会報恩講法要を

お言葉「少欲知足(しょうよくちそく)」です。としてお話をさせていただきました。今回お伝えしたいのは、仏教の今年は大阪・関西万博が開かれるということもあり、少しだけ住職

いかし、その上で未来へと進むことです。デザイン」ですが、未来を見るということは、過去からの学びを今に大切」という意味です。関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のこれは、「欲をおさえて、すでに持っているものに感謝することが

る」それが本当の幸せにつながる、ということを表しています。
つまり、「すでに得がたいものを持っていることに気づき、感謝す

は手にしているんですよ」という気づきがここにあります。「幸せになりたい」と思う方も多いですが、実は、「もうすでに幸せ

を考えて頂きました。 また、今回の仏教婦人会報恩講法要では、役員さん方が楽しい企画

ら健康に美しくなるマッサージを行いました。 まずは、会長さんによるお顔マッサージ。リンパの流れも考えなが

いて握手をし合いました。バージョンを皆さんで歌い、最後に「握手をしよう」という歌詞を聞がいて大阪万博にちなんで「世界の国からこんにちは」2025年

こうやってご縁あってお集まりいただいた皆さん方とお勤めさせて

素敵な時間を共有していただき、ありがとうございました。りがたいことであります。役員の皆さま方、ご参加いただいた皆さま、頂くのはもちろん、楽しく笑い合える時間を過ごせることは本当にあ







●茨木東組念仏奉仕団参加者募集のお知らせ●

て実施されています。

ついされる浄土真宗のご門徒としての生き方を改めて振りかえる場としかされる浄土真宗のご門徒としての生き方を改めて振りかえる場としいされる浄土真宗の正門徒としての生き方を改めて振りかえる場とに宗祖親鸞聖人の、み教えを肌で感じ、学びながら仏恩報謝の生活に生宗祖親鸞聖人の、み教えを肌で感じ、学びながら仏恩報謝の生活に生いされる浄土真宗本願寺にて清掃奉仕を通して愛山護法の念を深め、山である京都の西本願寺にて清掃奉仕を通して愛山護法の念を深め、山であるが表別である。

12月1日 (月) ~2日 (火) の一泊二日で行われます。

この茨木東組念仏奉仕団とは、 宿泊先は西本願寺隣にある京都東急ホテルでございます。 茨木東にある17ヵ寺のお寺さんの

わえない時間を皆様と一緒に過ごすことが出来ます。 での朝のお勤め、国宝の書院拝観など、さまざまな西本願寺でしか味 ルでの懇親会、朝早くなかなか行く事が出来ない朝6時からの本願寺 清掃をしていただき、ご門主様(本願寺住職)との記念撮影、東急ホテ たい毎年40名程のご門徒の方と、5名程のご住職さんとで行います。 仕・参拝を行う茨木東組17ヵ寺全員の団体行事でございます。 団体であり、その各お寺さんのご門徒の皆様で京都西本願寺の清掃奉 くわしい日程などは申込用紙に記載されていますが、西本願寺内の

寺までご連絡ください。 費用はお1人様18000円、締切は11月初旬でございます。西光

ので、どうぞよろしくお願い申し上げます。 1年最後の行事を皆さんと共に過ごさせていただきたいと思います

▼十・十一月の行事◆

月 九 日 (木)

秋季永代経法要

午後二時・七時

西光寺本堂

◎御講師 髙島 幸博 師(本願寺派布教使)

※昼はお勤めとご法話で、夜はお勤めのみとなります。

す。

+ 月 十六 日 (木)

大谷本廟墓参 (みのり講・穂積講の方)

午後二時

大谷本廟お茶所

||※なお、墓参の際、念珠・経本・千円を宜しくお願いいたします。 の際などによろしくお願いいたします。 行かれない方は千円を墓参に行かれる方、 または、 お逮夜参り

十一月二三日(祝・日)

報恩講法要

午後二時・ 七時

西光寺本堂

◎御講師 調整中

※昼はお勤めとご法話で、夜はお勤めのみとなります。

せて、 |香をしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げま |す。夜は出にくい方や季節も寒い時期でありますが、できるだけ多く |※夜七時からのお勤めは正信偈でございます、そして報恩講法要と併 の方のご参拝で、皆さんとご一緒に偲ばせていただき、お勤め・ 前住職の17回忌法要をお勤めさせていただきたいと思いま お焼